

昇降機・ビルシステム特集に寄せて

Invitation for Mitsubishi Elevator, Escalator & Building System



横田 憲一
Kenichi Yokota

昇降機設備に対する市場のニーズは、ビル内の縦の移動手段としての機能の充実・向上に加えて、建物の一部としてのデザイン性の追求、及び公共性という観点からの安全性・信頼性確保等、多様化・高度化している。

三菱電機のビルシステム事業本部は、2000年から“Quality in Motion 進化するクオリティ”をグローバルスローガンに掲げ、“効率性”“快適性”“安全性”を追求し、“人に優しい・環境に優しい”製品の提供を目指している。ここ最近では、薄形PM(Permanent Magnetic:希土類永久磁石)巻上機を採用した標準形機械室レス・エレベーター“ELEPAQ-i(エレパックアイ)”,振動抑制技術“アクティブローラーガイド”,特注形エレベーター“NexCube”(ネクスキューブ),エレベーター遮煙乗場ドア“Defense Door”,業界初の“可変速エレベーターシステム”等を開発し市場投入してきた。

今般,更なる市場のニーズにこたえるため,当社独自の技術を兼ね備えた標準形機械室レス・エレベーター“AXIEZ(アクシーズ)”を発売した。標準形機械室レス・エレベーターは当社昇降機の約6割を占める基幹機種であり,従来機種ELEPAQ-iから4年振りのフルモデルチェンジとなる。

AXIEZの名前の由来は,英語で“軸”を意味するAXIS(アクシス)の複数形であるAXES(アクシーズ)を語源としており,軸は“三菱昇降機の基幹機種(軸)”,またその訴求点が“エレベーター業界の軸”となるという期待を込めたものである。また“AX(=アクシス)・IE(=すなわち)・Z(=アルファベットの最後の文字・・・究極)”を意味し,軸で究極の品質を創造するという想(おも)いも表している。

その訴求点は,

- (1) 利用者の待ち時間や乗車時間を短縮する“MOTION(移動性能の向上)”

- (2) 設計自由度の向上をもたらす“SPACE SAVING(省スペース性の追求)”
- (3) かが内のデザイン性を高める“COMFORT(快適性の向上)”
- (4) 利便性と安全を追求した“UNIVERSAL DESIGN”の4つのキーワードを軸として,これからの標準形エレベーターに“新たな基準”を提案するものである。

今回の特集では,AXIEZの当社独自技術について述べる。

ビルシステムでは入退室管理を中心としたビルセキュリティシステムの開発に注力している。セキュリティ分野は,2005年4月の個人情報保護法の全面施行を背景に,事務所ビルを中心に,工場,金融店舗,マンションなど幅広い建物用途で需要が急速に拡大している。監視カメラシステムとの連動,Suica^(注1)やFelica^(注2)等カードによる入退室管理,ネットワークによる多拠点の入退室管理の一元化,情報セキュリティとの連携強化等,多様なニーズに対応するための機能拡充開発に加え,今年度は,当社のセキュリティ差別化技術として指の真皮を非接触で読み取る新方式のセンサ(指透過認証装置)を開発し,市場投入する。

今後,IT技術の更なる高度化,環境・福祉・安全・情報セキュリティをキーワードとした社会背景により,昇降機・ビルシステム共に,製品単体での技術革新だけでなく,周辺機器・端末との複合的技術革新がより一層求められるであろう。リーディングエッジ製品・サービスの提供により,ビル内の安全性・利便性・快適性の向上を通して社会に貢献するため,今後とも関連部門とともにトータルビルシステム事業を推進していく所存である。皆様の一層のご指導,ご支援をお願いしたい。

(注1) Suicaは,東日本旅客鉄道(株)の登録商標である。

(注2) Felicaは,ソニー(株)の登録商標である。